



# けやきっ子

六栄小学校だより  
第29号  
令和7年1月10日  
文責：久保田 眞二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

## 残り少ない日々を大切に過ごしましょう！

1月7日(火)から後期後半が始まりました。風邪やインフルエンザで数名の欠席者はいたものの、ほとんどの子どもたちが元気に登校してくれ、大変うれしく思いました。

さて、冬休み明け集会では岩本教頭先生から子どもたちに向けて話をしてもらいました。教頭先生の小学生のころは学習にきちんと向き合うことが少なかったそうです。授業で使うノートは、各科目で1冊ずつでなく、いろんな科目を1冊のノートで済ませていたそうです。しかし、5年生の時、友達からのアドバイスによって学習に向かい合う態度が変わったそうです。各科目で1冊ずつノートを準備して、黒板に書いてあることだけでなく、先生の言われる大切なポイントもノートに書くように努めたそうです。すると、今までと違い、学習内容がより理解できるようになり、学ぶことの楽しさを実感できたそうです。教頭先生は子どもの頃の体験を通して、自分から何事にも主体的に取り組むことの大切さ、そして、今年度の残り約50日を大切に過ごしてほしいことを伝えられました。

1月は行く(いく)、二月は逃げる(にげる)、三月は去る(さる)と言われますが、後期後半はあつという間に過ぎ去ってしまいます。1日1日を大切に過ごすばかりでなく、1年生から5年生までは次の学年に向けての心構えを、6年生は中学校へ進学する心構えをつかってほしいと思います。



## 寒さに負けず元気いっぱいです～ドッチボール・縄跳び・竹馬～

今週は最強寒波の影響で朝から非常に寒い日が続きました。そんな寒い中ですが、子どもたちは元気いっぱいです。高学年は運動場でドッチボール、低中学年は中庭で竹馬や縄跳びをしています。

子どもたちの元気な姿を見ると、こちらまで元気をもらおうと同時に、子どもたちの逞しさを嬉しく思います。



## 感染症が心配です ～予防の徹底を～

ニュースでは、インフルエンザの大流行で薬が不足していることが報道されています。本校の後期後半の欠席状況を見てみると、インフルエンザ、溶連菌感染症、体調不良などで平均すると10名ほどの欠席者が毎日います。今後、感染症や病気が原因で欠席者が増えるのではないかと非常に心配しています。マスク着用、手洗いうがい、人ごみを避ける、早めの休養など、予防に努めるよう担任から声掛けはしていますが、予防を心がけている子とそうでない子の差があります。学校や学級で感染症が広がれば学級閉鎖の措置をとることもあり、そうなれば、保護者や子どもたちの負担は大きくなります。そうならないためにも、ご家庭におかれましても感染症予防に十分に努めていただきますようお願いいたします。



冬休み中は子どもたちの事故やケガなどの報告もなく、充実した冬休みを過ごせたようです。これも保護者や地域の皆さまのおかげだと感謝します。今年度も残り3か月となりましたが、保護者・地域の皆様と学校が連携して子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。よろしくお願ひします。

毎月17日は  
「ながす交通安全の日」